

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)プレサンスロジエ長岡京新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1: 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.4	1.00	3.3
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.8	0.50	
1 開口部遮音性能	T-2サッシを採用	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	フローリングL-45を使用		-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音			-		-	
2 温熱環境		1.1	0.35	3.0	1.00	2.7
2.1 室温制御		1.3	0.50	3.0	1.00	
1 室温		1.0	0.63	-	-	
3 外皮性能		2.0	0.38	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.3	0.25	3.2	1.00	3.1
3.1 屋光利用		1.8	0.30	3.5	0.50	
1 屋光率	開口部が大きい	1.0	0.60	4.0	0.50	
2 方位別開口			-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50	
2 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	3.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
Q2: サービス性能		2.5	0.30	3.2	1.00	2.9
1 機能性		2.5	0.40	3.2	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性	速度が速いインターネットに対応		-	4.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	ごみ置場を確保している	3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31		-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得	5.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイルを使用	5.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.3	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり					1.6	0.50	
1	階高のゆとり				2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR1 エネルギー				0.40			3.9
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20			3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を使用	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		潜熱回収瞬間式給湯器を採用	5.0	0.40			5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			#VALUE!				
集合住宅の評価			5.0				
4 効率的運用							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.9
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無						
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63			2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	地域産木材を住戸間仕切壁下地に使用	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮			4.4	0.33			4.4
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減						
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明がない	4.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			